

◆委員（西山信昌）

平成26年度の市税徴収率につきましては、過去最高の97.9パーセントとなりまして、本市の財政健全化に非常に大きな効果をもたらしていると思えます。これは、全庁挙げた徴収率向上の取組の成果であると考えているわけですが、更なる徴収率の向上に向けましては、従来から行われている徴収強化の取組だけではなく、納税環境の改善も非常に重要であると認識をしております。平成26年3月の予算特別委員会におきまして、我が会派の大道委員の質問に対しまして、門川市長から、市民税と固定資産税について、コンビニ納税のシステム改修を進めており、可能な限り計画を早め、2年後にはコンビニで手軽に納税していただける環境づくりを行うとの御答弁がありまして、この点につきまして、私も局別質疑でこの進捗状況をお伺いしましたところ、その答弁どおりに、平成28年度の当初に送付する市府民税普通徴収分、固定資産税、都市計画税の土地家屋分、固定資産税の償却資産分の納税通知書に付ける納付書からコンビニで納付できるものに改められるとの御答弁がございました。また、来年度を待たずに、今年度10月下旬以降に、各税務センターや市税事務所で発行する納付書についても、先行的にコンビニで納付できるものに改修し、いち早くコンビニ納税を開始するとのことでもありました。これらによりまして、非常に納税環境が改善されるという風に期待をしているわけでございます。さらに、徴収率の向上にもつながるものとも期待をしております。

今回大幅な改善がなされるわけですが、更なる改善を目指す取組も様々なものがあるかと思えます。例えば、納税された市民の方にポイントがたまるクレジットカード納税といったものも導入をされている自治体もございません。そういった意味におきましては、今回コンビニ納税が始まるわけですが、さらに次の手として、今後の納税環境の改善についての考えをお聞かせください。

◎副市長（小笠原憲一）

市税徴収の取組につきまして、お褒めをいただきましてありがとうございます。公平公正の確保、あるいは財政が大変厳しい中での改善に向けて、これからも引き続きしっかりと取り組んでまいります。

先ほどお話をいただきましたクレジット納税でございます。納税環境の整備につきましては、納税環境の整備、これは市税の納期内納付の増加につながるものでございまして、私どもとしても積極的に進める必要があるという風に考えてございます。クレジット納税につきましては、多様な決済方法がある中

で、この納税方法は、納税者にとっても、インターネットの接続環境があれば、時間、場所に関係なく納税が可能になるということで、市民のサービス向上にもつながるということでございます。

また、一方、本市におきましても、これは導入後、市に一定の手数料負担等が掛かるといったこともございますが、一方で着実な徴収が可能、あるいは納税手段の拡大による納付促進を期待できるといったことが認識されております。本市も既に水道料金では導入しておりますし、政令市におきましては、相模原市、神戸市、あるいは福岡市が本年度予定という風になります。実績もありますし、全国では約90における市区町村において既に導入がされているということでございます。私どもとしましては、できるだけ早期の実現に向けて検討を進めてまいりたいという風に考えております。